

緑の基本計画での街路樹整備と意識啓発の取り組みは

荻野フォーラム 佐竹 百里

問 本年3月に緑の基本計画が策定され、継続性を考えた理想的な緑の景観が示された。今後は景観ガイドラインなどを参考に、都市計画道路の街路樹整備や市民の意識啓発が重要になる。街路樹は道路の風景をつくるものだが、都市計画道路の特色付けをどう考えているか。また、市民の

共感を得る景観をつくるのが重要だが、意識啓発などの取り組みはどうか。綾西緑地などに桜の古木があるが、景観上重要な桜並木への対策は。景観を形成する街路樹の選定には、さまざまな事例を知っている専門家などを交えた検討が必要ではないか。

答 都市計画道路は、同種の樹木で並木を形成することで、景観を特色付けている。早

解体工事におけるアスベスト飛散事故の再発防止策は

荻野フォーラム 笠間信一郎

問 綾瀬小学校旧校舎の解体工事でアスベストの飛散事故が発生した。本市では、過去にアスベスト除去工事を行っている。このときの処理や問題認識が、一過性で不十分であったことが、今回の事故原因と考えるが、どのような再発防止策を作成するのか。被害者は、綾瀬小学校の児童

や先生、周辺住民だけではなく。全市民はもとより行政としての綾瀬市も、対外的に信用を傷つけられたが、どう捉えているか。地元住民や学校関係者への説明は終わったようだが、市民や市外の人にも、広報あやせなどで再発防止策を広く知らせ、信頼回復に努めるべきではないか。

答 今回の事故原因は、事前調査が不十分だったためと考えている。再発防止には、各

深谷中央特定土地進の資金は

新政局 山田 晴義

問 深谷中央特定土地区画整理事業は、自然と調和した良好な都市環境の形成を図ることを目標として実施され、利便性を伴うにぎわいのあるまち並みが整備されてきている。事業期間は平成27年度末までだが、いまだに合意が得られていない地権者への対応はどうなっているか。区画整理事業では、保留地販売の収入が貴重な財源となる。保留

地販売の状況と今後の予定はどうなっているか。事業完成に向け、今後の資金は、どのようになっているか。また、地権者の土地利用や市で行う道路や公園の整備にさまざまな効果があつたと思うが、どのように受け止めているか。

答 本事業では、また、地権者2人の合意が得られていないが、具体的な話し合いが進んでおり、粘り強く交渉していく。保留地の85%が販売済みだが、販売中の宅地の価格引き下げや住宅展示場などでのPRで、早期の完売を目指している。国などの補助金は

進化する綾瀬市の魅力あるまちづくりをどう進めるか

新政局 青柳 慎

問 市長は、就任以来先頭に立って行財政改革に取り組み、厳しい財政状況の下でも市民サービスを低下させることなくバランスの取れた市政運営を行ってきた。東日本大震災や原発事故は、国難といえる状況であるが、このように、魅力あるまちづくりをどのように進めていくのか。現在整備中のスポーツ公園に建設予定であった文化産業交

流施設は、計画を変更し、建設しないとのことだが、今後どうするつもりなのか。また、市街地活性化の面では、旧町役場付近一帯の未利用市有地を整備し、有効活用すべきと考えるがどうか。

答 就任以来、本市の発展と市民福祉向上のため、誠実に奉仕の心で邁進してきた。今後も「緑と文化が薫るふれあいのまち あやせ」の理念に基づき、戦略的事業を選定し、優先的に実施することで、「住み続けたい、一度は住んでみたい」と思えるようなまちづくりに取り組んでいく。文化産業交流施設の整備は、綾瀬インターチェンジ予定地周辺整備やアグリパーク構想の中で、検討していく。旧町役場付近は、第2次未利用市有地有効利用計画の中で、一体的な活用を念頭に用途を見直す方向で取り組んでいる。

（ほかに「プール行政について」を質問）

安全とされていたXP-1に亀裂が再発したのか

二見 昇

問 今年8月、XP-1（次期固定翼哨戒機）に亀裂が入り、厚木基地への年度内配備を断念すると新聞で報道された。亀裂が入るなどの事態は、平成19年にも起きていたが、同年12月の一般質問で市は「強度試験を二重、三重にも実施していることから、

安全性は担保、確認されている」と答弁された。3年経った今日、なぜ、同様の事態が起きたのか。また、静強度試験の荷重数値は、防衛大臣が定める航空機設計基準の1・5倍とのことだが、今回の試験では、荷重負荷を1・4倍にしたところで亀裂が生じた。1・5倍の基準で安全は確保できるといえるのか。

答 今回の亀裂は、通常の飛行で想定される以上の荷重を負荷し、機体の強度を確認するため、地上で行った静強度試験の際に発生したものである。亀裂の直接的原因は分からないが、現在、防衛省で原因と対策の調査、研究を行っている。静強度試験の荷重数値は、国際標準で設計基準の1・5倍と定められている。この国際標準により速度を試験するとのことだが、今回の試験では、1・4倍の数値に達したところで亀裂が生じたものである。国の説明では、開発途上に起きたことでもあり、今後改善できるとのことである。

議会の動き

- 8月
 - 19日 議会全員協議会
 - 25日 議会運営委員会
 - 9月
 - 1日 9月定例会本会議（初日）・議会全員協議会・議会運営委員会
 - 2日 9月定例会本会議（第2日）・議会全員協議会
 - 6日 市民福祉常任委員会
 - 7日 経済建設常任委員会
 - 8日 総務教育常任委員会
 - 15日 基地対策特別委員会
- 10月
 - 5日 佐賀県鹿島市議会議員来市（産業振興マスタープラン）
 - 20日 議会全員協議会
- 11月
 - 8日 総務教育常任委員会行政視察（福島県田村市・二本松市・福島市）
 - 14日 市民福祉常任委員会行政視察（高知県高知市・徳島県美馬市・香川県善通寺市）
 - 26日 京都府向日市議会議員来市（コミュニティバス）・沖縄県豊見城市議会議員来市（コミュニティバス）
 - 31日 議会報編集委員会